

# 会社説明会

## 会社概要と働き方

2024年2月 Web開催



# 内容

1. 鳥獣対策・自然環境保全
2. 会社概要
3. ビジネスモデル
4. 求められるスキル
5. この会社での働き方
6. 質疑応答
7. 最後に

質疑応答を含めて45分程度になります。

## 鳥獣被害対策

鳥獣害を減らすには  
何をすればいいんだろう？

# 鳥獣被害対策

## 鳥獣被害対策の3本柱

○ 鳥獣被害対策は、**個体群管理**、**侵入防止対策**、**生息環境管理**の3本柱が基本。



# 会社概要

## -沿革-

- 2014年
  - ・株式会社 Foresters PROとして法人登記
  - ・地方自治体の公共事業の受注に着手
- 2015年
  - ・地方自治体から公共事業としてのニホンジカの捕獲/調査事業の受注開始
  - ・環境省 認定鳥獣捕獲等事業者 登録
- 2017年
  - ・秩父事務所設立
- 2018年
  - ・ニホンザルの1群れを根絶
- 2019年
  - ・コンサルティング事業開始
- 2020年
  - ・ニホンザルの1群れを根絶
- 2021年
  - ・ニホンジカの生体捕獲を実施
- 2022年
  - ・相模原事務所設立
  - ・青梅事務所設立
  - ・ニホンライチョウ関連事業開始
- 2023年
  - ・那須塩原事務所設立



## 会社概要 -受注実績（銃器捕獲）-

埼玉県高標高シカ捕獲

東京都高標高シカ捕獲

水道水源林シカ捕獲

東京都水道水源林ニホンジカ捕獲促進事業

山梨県捕獲困難地域におけるニホンジカ試行捕獲

神奈川県捕獲困難域ニホンジカ管理捕獲

丹沢山地シカ個体数調整

国立公園特別保護地域シカ捕獲

サル特定群の根絶を目的とした捕獲

サル特定加害個体の捕獲

サル個体数調整

サルGPS首輪装着（麻酔銃）

造林地被害対策シカ捕獲

島嶼部の外来生物（キョン）の根絶に向けた捕獲





# 会社概要 - 受注実績 (銃器捕獲) -



## 会社概要 - 受注実績（わな捕獲） -

東京都分布拡大地域わな捕獲

神奈川県分布拡大地域わな捕獲

北関東分布拡大地域わな捕獲

足くくりわなによる有害鳥獣捕獲

ICTを利用した足くくりわなでのニホンジカ捕獲

ICTを利用した足くくりわなでのイノシシ捕獲

根絶を目指した足くくりわなでのイノシシ捕獲

農地周辺の箱わなでのイノシシ捕獲

ICTを利用した大型囲いわなの技術開発

シカの生体捕獲とGPS首輪装着・追跡調査





# 会社概要 -受注実績 (わな捕獲) -



## 会社概要 - 受注実績（調査等） -

東京都分布拡大・捕獲困難地域でのシカ管理方針検討

希少野生生物（ライチョウ及び高山帯植物）保護管理対策業務

サルの生態・被害調査

農地周辺へ出没するツキノワグマ・獣類の実態調査

ツキノワグマ生態調査

世界遺産地域へ進出しつつあるシカの生態調査

階層ベイズ法を用いたイノシシの個体数推定調査と対策検討

階層ベイズ法を用いたシカの生息密度の時系列解析とGPS首輪追跡のGIS解析

糞塊法によるニホンジカの生息調査

地域ぐるみ獣害対策推進事業のコンサルティング

造林地におけるシカの被害対策評価コンサルティング

島嶼部の外来生物（シカ）の根絶に向けた捕獲方法コンサルティング

鳥獣被害対策実施隊の活動状況評価

市街地及び農地へのイノシシ出没状況調査

県職員に向けたわな捕獲研修会講師





# 会社概要 - 受注実績 (調査等) -



sample1	Accession_top1	Target_top1	Identity_top1	Align
8139	OL674257.1	<i>Athyrium_filix-femina</i>	100	
5809	MN192856.1	<i>Rubus_rosifolius</i>	100	
3937	JF943514.1	<i>Persicaria_nepalensis</i>	100	
3209	JF950004.2	<i>Fallopia_japonica</i>	100	
2861	MN205049.1	<i>Carex_breviculmis</i>	100	
2190	KJ746313.1	<i>Carex_humilis</i>	100	
1927	MW477436.1	<i>Prunus_serrula</i>	100	
1877	MN185141.1	<i>Weigela_coraeensis</i>	100	
1384	KP737331.1	<i>Actinidia_tetramera</i>	100	
1268	AB269073.1	<i>Cornus_wihsiana</i>	100	

# 会社概要 - 受注実績（政策決定支援等） -

令和[ ]シカ管理計画検討会[ ]専門部会タイムスケジュール		
日時： [ ] 9：30～12：00（2時間30分予定）		
9:30～9:35	開会挨拶・資料確認	
	調査報告	シカ生息状況等調
		シカ個体群動態等
		シカ糞塊密度調査





# 会社概要 - 業務実績 (ツキノワグマ対応) -



## ビジネスモデル

鳥獣の保護管理は公益的な目的



公共事業として行政機関から発注される



当社が請け負うほぼ全ての業務は  
入札で決まっている。





## 入札制度とは

国及び地方公共団体が公共工事や業務委託を発注する際に、公正に業者選定をするための制度です。

官公庁における発注の財源は、税金により賄われており最も**安い業者を選定することが原則**となります。

複数業者から入札書を提出させ、最も**安い金額**を提示した業者が契約相手となります。

この入札書の提出手続きは厳正に行われ、業者同士で金額調整が行われないようにされます。

応札企業・金額が伏せられた状態で入札し  
一斉に開札される。



# 競争入札参加資格

## 入札説明書

# 公共事業の受注には高い事務能力が必要

でないこと。  
(6) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「確認資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、関東森林管理局長から「物品の製

請証を提出し確認を受けること。  
(エ) 本事業と同様の植樹事業に従事した実績を有すること。  
② 作業従事者

- 1. 公告日
- 2. 契約内容  
(1) 入札  
分任式  
(2) 契約  
分任式

- 3. 事業の概要  
(1) 事業名 賀茂西地区有害鳥獣捕獲委託事業（R3型債）  
(2) 事業内容 足くりわなによるニホンジカ捕獲 1,273.62ha  
(3) 事業場所 静岡県賀茂郡西伊豆町 仁利国有林 401 林班外  
(4) 履行期間 契約締結の日の翌日から令和4年12月19日まで
- 4. 入札の方法  
本件の入札は、電子調達システムにより行う。なお、電子調達システムによる入札によりがたい者は、発注者の承諾を得て紙入札方式により入札に参加することができる。

- 5. 競争入札参加資格  
本事業の入札に参加できる者は、次のすべてに該当する者とする。  
(1) 法人又は複数の法人の連合体であること。  
(2) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号、以下「予決令」という。）第70条の規定に該当しない者であること。  
なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。  
また、予決令第71条の規定に該当しない者であること。  
(3) 平成31・32・33年度（令和1・2・3年度）農林水産省競争参加資格（全庁統一資格）の「役務の提供等（その他）」において、「関東・甲信越」・「関東・北陸」の競争参加資格を有する者であること。  
(4) 複数の法人の連合体として入札に参加する場合は、当該連合体の構成員の全てが全庁統一資格を有するとともに、構成員の全てが署名、押印した代表者選出届を添えて5(2)の申請を行い、これらの構成員がこの公告に係る発注案件に対して単体法人として入札を行わないこと。  
(5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（競争参加資格に関する公示（令和2年3月31日）9(2)に規定する手続をした者を除く。）

- は再生手続が存続中の会社である場合は除く。  
(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合  
(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合  
(3) その他入札の適正さが阻害されると認められる場合  
その個人事業主又は中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）若しくは森林組合法（昭和53年法律第36号）等に基づき設立された法人等であって、上記(ア)又は(イ)と同様に資本関係又は人的関係があると認められる場合  
(8) 農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について（平成19年12月7日付け19-1314号大臣官庁経理課長通知）に基づき、警察当局から、課局長に対し、暴力団員が実質経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除があり、当該状態が継続している者でないこと。  
(9) 本事業の実行体制  
本事業の安全管理体制を確保するため、事業管理責任者1名を選任し、随従従事者及び従事者を業務量に応じて必要人数配置すること。なお、配置予定の事業管理責任者、随従従事者及び作業従事者は、常勤・非常勤を問わず、受託者が直接雇用する者であること。  
① 事業管理責任者  
事業管理責任者は、本事業を適切に実施するため、安全管理体制の確保、随従従事者及作業従事者への研修等を実施する責任者であり、事業全体を統括、監督する権限を有する者とし、下記の要件を満たしていること。  
(ア) 入札日から起って3年以内に環境省等が実施する認定鳥獣捕獲事業者講習の安全講習及び技能知識講習を修了した者。または同等の講習を修了した者であること  
(イ) 捕獲手続に比じた射撃免許を有していること。  
(ウ) 「心臓蘇生」「外傷の応急手当」「搬送法」を含む救急救命講習を受講しており、入札日までその効力を有していること。また、有効期限に定めが無い場合は入札日から起3年以内に受講していること。  
なお、発注からの受講証があり新型コロナウイルス感染症の影響により更新の手続困難な場合は、入札日の前日までに当該講習を受講のうえ、入札日当日に入札担当

講習を受講し提出すること。  
② 作業従事者  
作業従事者は、車両の運転、記録、連絡、わなの見回り、給餌、捕獲個体の運搬等、鳥獣の捕獲等に付随する補助作業及び事務作業に従事する者を指す。



# 成果契約・努力量契約

## 成果契約

期間 … 決まっている

人日数 … 自由。捕れれば構わない

捕獲頭数 … 決まっている

作業方法 … 概略のみ決まっている

提出物 … 決まっている

捕獲**頭数**に達しない場合

減算



## 努力量契約

期間 … 決まっている

人日数 … 決まっている

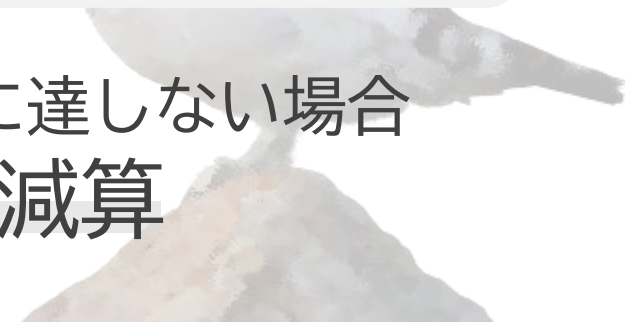
捕獲頭数 … 目標に達しなくても可

作業方法 … 細かい手順まで指定される

提出物 … 決まっている

指定**日数**に達しない場合

減算



# 成果契約・努力量契約

受託するためには・・・

成果契約

技術を上げる

長期安定雇用と技術の研鑽  
捕獲方法の開発

会社の方針！

努力量契約

職員を安く雇う

アルバイトや非常勤職員を効率よく  
調達するプラットフォームの運営  
やそれができる人材の調達

あまり興味がない

# 会社の特徴

人を育て、安さではなく質を求める方針

徹底した教育と訓練、資機材の投入





# 具体的に必要な能力

求められる人材・スキル（入社～3年目までの目標）

## 射撃

- ● ● クレー平均20点、射獲率90%以上  
（そのために年間の練習代が支給されています）

## 高度な知識

- ● ● 各種法令、生物全般、登山技術、捕獲技術、鳥獣の管理方法など、幅広い知識が求められる。

## 安全

- ● ● 自分だけでなく同行者やチーム全体にも気を配り事故無く現場作業を遂行できる。

## 報連相

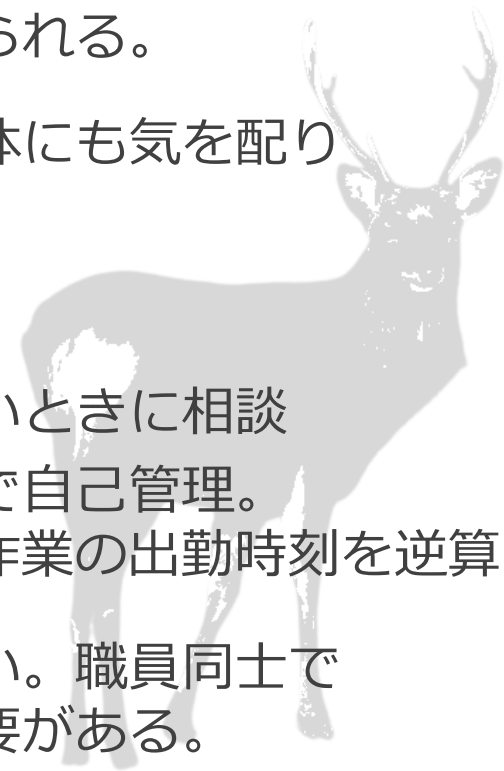
- ● ● 報告：任された作業の進捗を報告  
● ● ● 連絡：必要な情報を関係者に連絡  
● ● ● 相談：判断に迷うときや分からないときに相談

## 時間管理

- ● ● 出張中は明確な出勤退勤はないので自己管理。  
● ● ● 振られた作業の時間配分、日毎の作業の出勤時刻を逆算。

## チームワーク

- ● ● 一人で業務をこなすことはできない。職員同士でサポートしあいながら作業する必要がある。





# 事故を起こさないために



練習・ミーティング、  
装備品類を十分に

# 業務内容

銃器捕獲

わな捕獲

生体捕獲

調査

解析

日報作成

報告書作成

関係機関との調整

捕獲業務（現場）が6割程度  
約150日

事務作業（内勤）が2.5割程度  
約60日

残る1.5割は研修や有給



## 会社概要 -1年の流れ-

4月

健康診断・射撃練習・入札参加資格申請書類作成・有給・落札した業務の開始準備・その他雑務

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

現場で捕獲・日報類作成

報告書作成と提出・貸与物品の返却・有給・その他雑務



# 会社の現状 FPROの強み

業務の効率化と変化の速度感

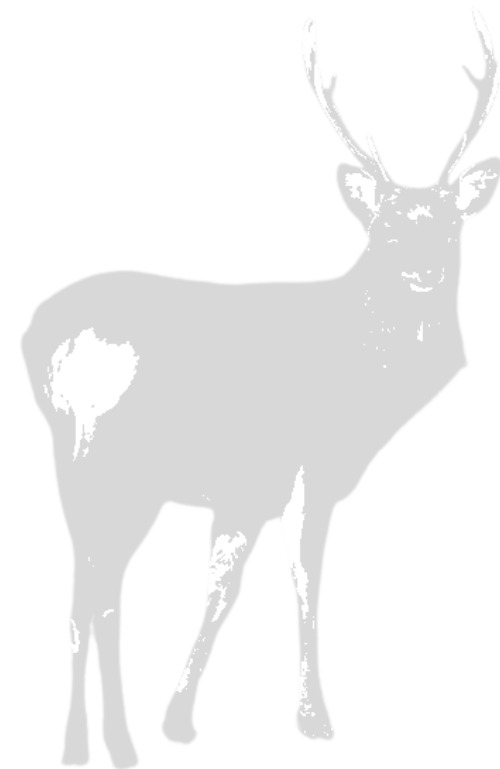
銃器捕獲が得意

調査・統計学的解析

野生鳥獣の対策方針の政策決定補助

手当と装備品が潤沢

全員が長期雇用の職員



## 今後の展望

～鳥獣対策の基盤を作り、人が豊かに暮らせる社会を作る～

会社として拡大したい業務

会社内の体制整備

分布拡大地域での捕獲

人材の育成

捕獲困難地域での捕獲

技術開発

希少種の保全と捕食者対策

より働きやすい環境の整備

外来種対策

出張なし職員制度の創設

生体捕獲

ツキノワグマの放獣・対策

ドローンを活用した捕獲・調査





# 募集要項

## 募集要項

### 職務内容

- ・ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル等の捕獲。
- ・ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル等の中大型哺乳類の生態調査、農林業被害の調査。
- ・地域住民への農林業被害対策技術に関する普及啓発。
- ・行政機関等に対する農林業被害対策、捕獲技術・体制に関するコンサルティング。
- ・行政機関が行う農林業被害対策技術の開発の支援。
- ・上記調査・捕獲等のデータ解析（統計及び地理情報）。
- ・上記調査・捕獲等の報告書の作成。
- ・上記を執り行うための関係機関との連絡調整、営業活動、諸準備。
- ・上記を執り行う職員の統括管理（の候補生）。
- ・企業活動に付随して発生する経理、物品管理。

### 募集対象経歴

■大学（院）卒：野生動物の保護管理、飼育、生物学、農林業等の当社業務に関連する課程を卒業、あるいはその他の分野（文系理系を問わず）で学業において優れた成績を修めたことや関連する活動実績があること。

### 必須資格

普通自動車運転免許（AT可）

### 条件付き必須資格

第一種銃猟免許及びわな猟免許（未取得でも応募可能。採用された場合は指定された期日までに確実に取得のこと。）  
猟銃所持許可（採用後、装薬銃の所持許可を取得すること。）

### 入社当初に必要なスキル

基本的なパソコンの操作（ワード、エクセル、パワーポイント、メールソフト）

### 求める人物像

- ・野生動物の保護管理、農林業被害対策の体制の構築のため、粘り強く課題解決に取り組める。
- ・関係者と円滑な意思の疎通を行おうと努力できる。
- ・自己の技術力の研鑽に努められる。

### 体力要件

健康で野外活動が可能なこと（採用時に5kg程度の荷物を背負って2時間程度の野外活動ができる方）

### 初任給

- ・専門学校新卒 月給203,000円 ・大学学部新卒 月給220,000円 ・大学院修士終了 月給225,000円
- ・獣医師新卒 月給260,000円
- ・博士課程修了 個別に決定
- ・第二新卒初任給目安＝最終学歴初任給＋鳥獣・生物等関連職種経験年数×3,000円 それ以外職種目安＝最終学歴初任給＋経験年数×1,000円

### 昇給賞与

年4.9～13.6%程度（2022年実績）、1～2.5ヶ月分（2018,19,20,21,22年実績）

### 主な勤務地

神奈川県相模原市にある事業所、東京都、山梨県、埼玉県の現場へ直行直帰（内業はテレワーク制。本社出勤は年間40日程度）





# 募集要項（待遇） 未経験者を想定して待遇を設定

そもそも始まったばかりの新しい業界。経験者の前例がない。

## 【職種】

大型獣類を主な対象とした捕獲・調査員の**正社員**

## 【給与】

大学新卒：月給220,000円 大学院（修士）新卒：月給225,000円

博士号取得新卒：260,000円程度 獣医師新卒：260,000円

初任給年収＝上記月給×12＋（業績が好調なら）賞与（1.2カ月分）＋残業代（月5時間程度）  
≒310万円～360万円程度（2023年度修士卒実績350万円程度）

30歳時点で年収400万円ほどを目標。

（中途採用も上記に準ずる）

## 【残業】

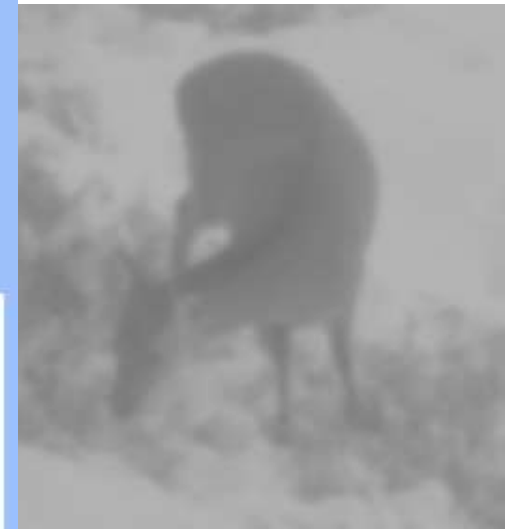
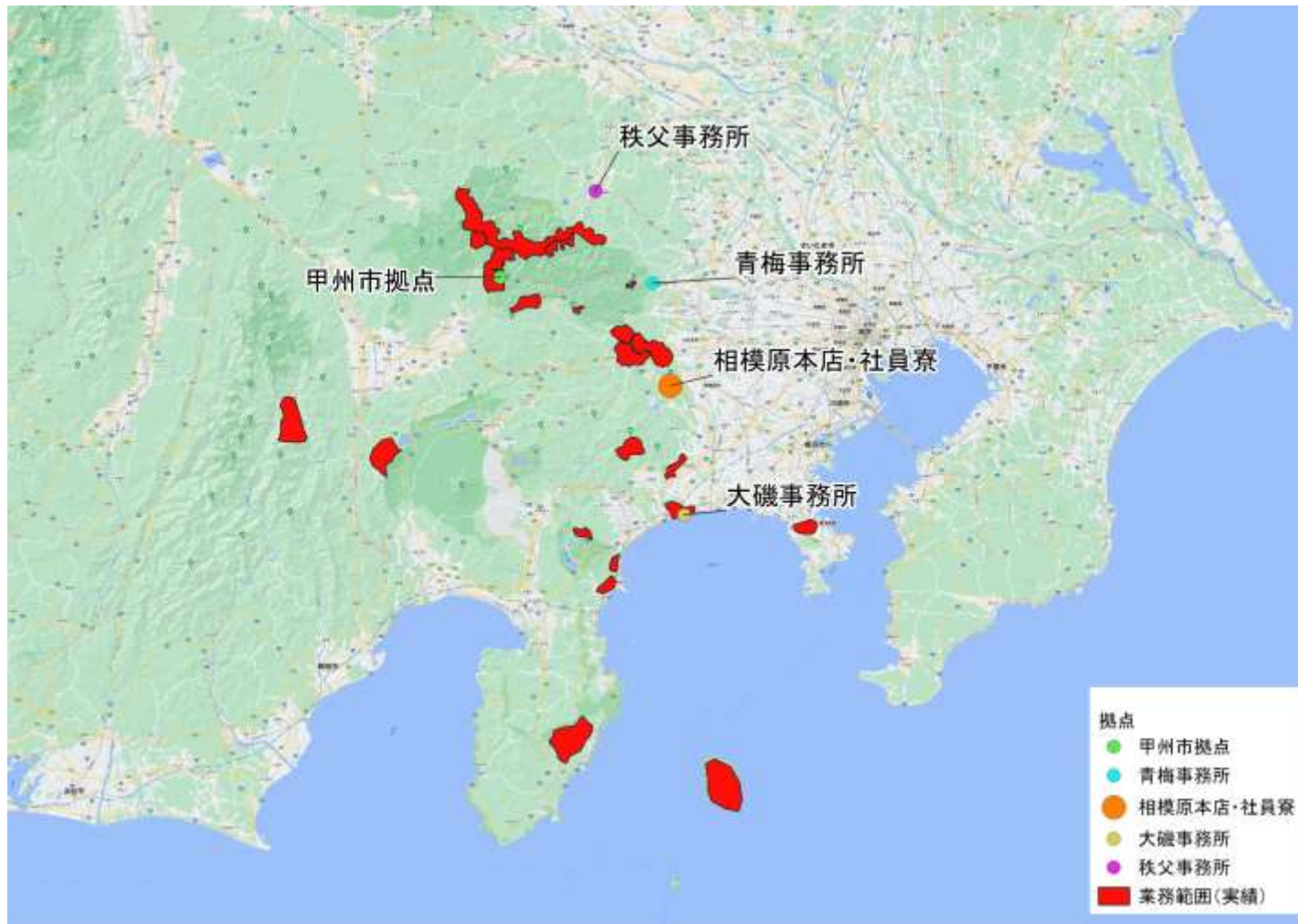
年間の合計で50時間程度

## 【有給】

実績として法定の1.1倍以上取得。

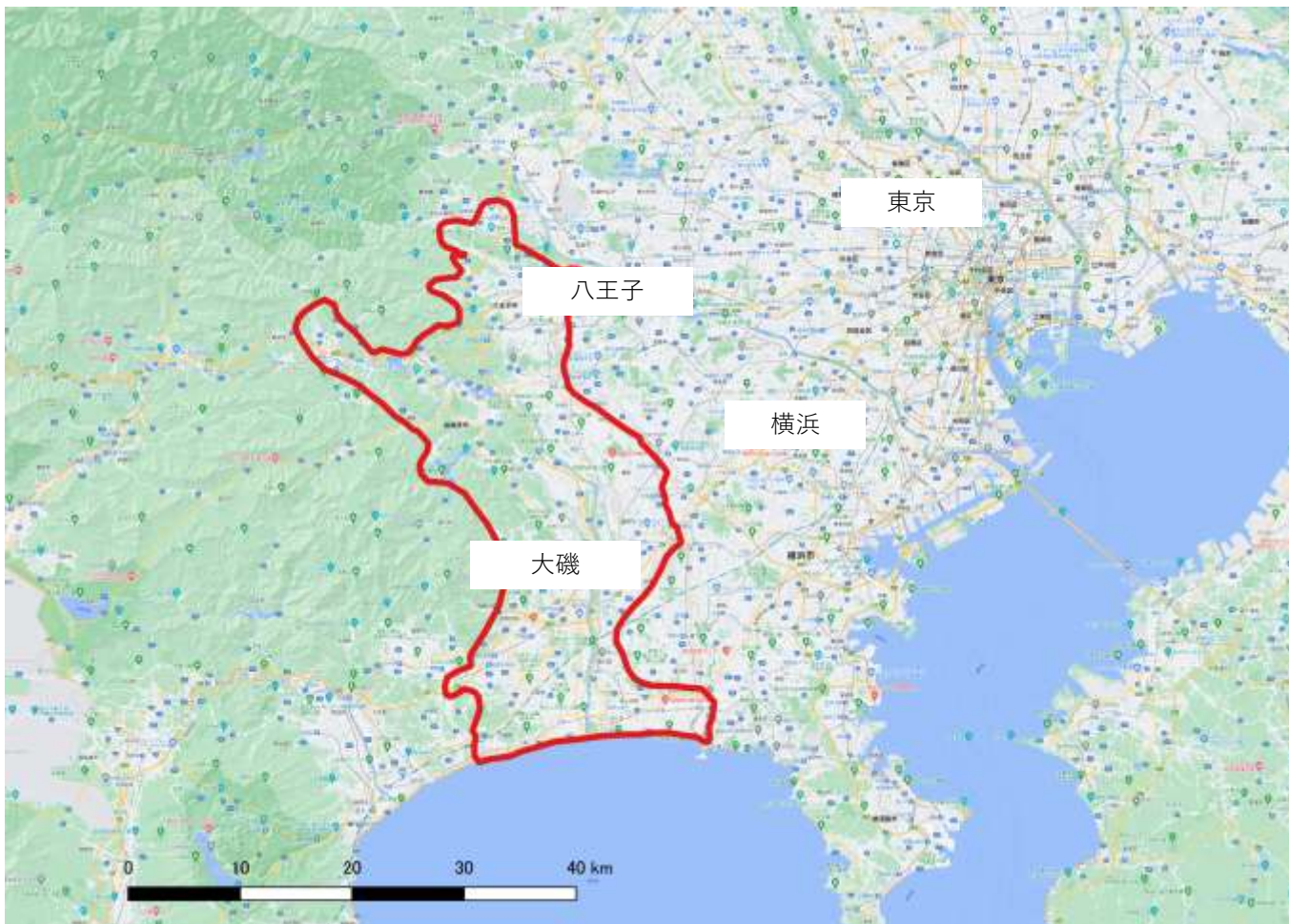
# 会社の業務地と拠点・従業員住居地

週ごとに各拠点へ出張。※ほぼ毎週出張です！  
決まった3-4か所の拠点をローテーション



## 会社の業務地と拠点・従業員住居地

社用車を貸与し現場へ直行直帰、ガソリン代、高速道路代、メンテナンス料、事故時の保険等を全て会社負担。その代わりに現場へ行くのに合理的な範囲に居住していただきます。





# 待遇に関して Q & A

今までの説明会や面接でご質問いただいた内容

## 女性の雇用

Q 建前はともかく実際は女性は受付けていないですねよね？

A 性別は一切選考基準になりません。体力に自信がい場合は面接時に具体的に相談させていただきます。

## 産休育休

Q 出産を機に仕事を辞めなければならなくなりますか？

A 産休育休とその後の復職は法で定められた制度ですので取得できないことはありません。男女ともに当然産休育休を取得するものと考えています。

## 出張と有給

Q 有給は自由にとれますか？

A 残念ながら5月～2月は2名1組でほぼ毎週出張ですので業務に支障が生じてしまいます（法に基づく別の期日の指定）。病気の場合は休むしかありません。冠婚葬祭は100%休めます。



# 採用基準に関して 学力・研究・課題発見力を重視

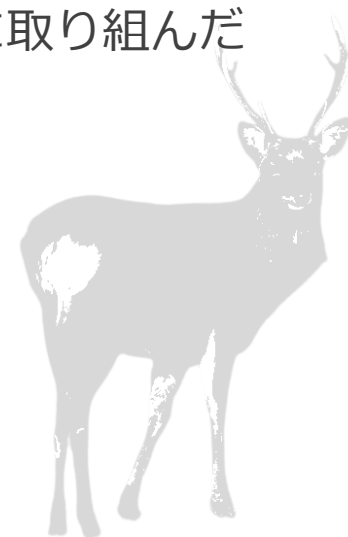
## 他の企業と違うかも知れない採用基準

学業への取り組みを評価します。採用面接では、卒論の内容をお聞きします。面接担当者も該当分野を浅く勉強してから面接に臨んでいます。

履歴書には学校（現職）で学んだ内容、社会的な課題だと感じている点を漏らさず書いていただきたいです。

採用決定後も引き続き大学、専門学校の研究や勉強、現職で興味ある事に一生懸命取り組んでいただきたいです（採用までに資格取得費の補助があります）。

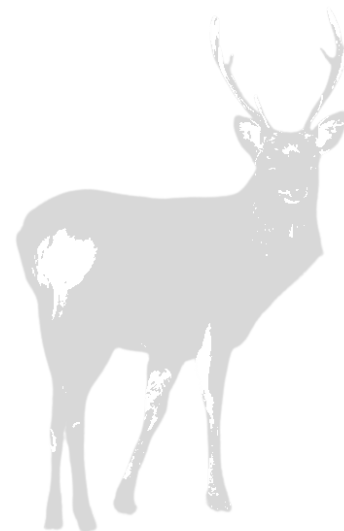
野生動物や生物関連を専攻していなくても構いません。しっかりと課題に取り組んだ経験が考える力となり野生動物問題の解決に役立ちます。



## 質問タイム ご質問をお願いします。

zoomの挙手ボタンを押していただくか、ご発言をお願いいたします。

- ご発言の前にミュートが解除されているかご確認ください
- 参加者が多数の場合、挙手に気が付かない場合がありますのでご発言をお願いします。
- ご質問は何回でも可能です





## 最後に

# 捕獲・鳥獣管理の専門会社

- 国内でも先例のない事業に挑戦する会社
- ひとりひとりが会社と社会を支える必要不可欠な存在
- 各地の先進事例に関わることのできる環境
- 自己研鑽を歓迎し安定雇用、やや実力主義寄りの待遇

当社と一緒に働きましょう！

